

# お手入れ

## ■ お手入れ時の注意事項

商品を長く使うために、商品に応じたこまめなお手入れと不具合が生じた時の調整が大切です。お手入れせずに放置すると、表面に付着した汚れは、変色・変形などの原因となり、他の不具合が生じます。

### お願い

汚れが付いたら早めにお手入れしてください。また不具合が生じた場合、調整方法に従って調整してください。調整を行うことにより元に戻ることがあります。

お掃除の際、不安定な台に乗って作業しないでください。転倒などにより、思わぬけがをするおそれがあります。

- 万一変色・キズ・へこみなどが起こった場合は、専用の補修キットを用意しておりますので、お取り扱いの建築会社、工務店、販売店または当社お客様相談室にご相談ください。  
( ☎ 0120-20-4134 )

### 【薬品への配慮】

- 有機溶剤（シンナー、ベンジン、アセトンなど）が表面に付着すると、ひび割れやはがれなどが生じますので、お手入れには有機溶剤を使用しないでください。
- 塩素系薬品（次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤など）が表面に付着したまま放置された場合、表面が変色することがあります。付着した場合はすみやかに洗い落としてください。



### 【キズへの配慮】

- 金属たわしやカメノコタワシなどは傷つきやすいので、絶対に使用しないでください。表面にキズが付くおそれがあります。
- 樹脂板と扉のすき間を清掃する際は、竹串や歯ブラシなど、とがったものをすき間に差し込まないでください。水密材が切れて漏水などの原因となります。

### 【調整する場合】

- 商品の調整にあたっては、電動ドライバーは使わないでください。商品の不具合や破損の原因となります。
- 調整に必要な箇所以外のネジをゆるめたりしないでください。商品の不具合や思わぬけがの原因となります。  
ご自身で調整を行う場合は、本章に記載する調整方法に従い調整を行ってください。決して扉本体をはずさないでください。  
また、調整しても不具合が改善されない場合は、お取り扱いの建築会社、工務店、販売店または当社お客様相談室にご相談ください。  
( ☎ 0120-20-4134 )

## ■ 通常のお手入れ（脱衣室側）

### 1 表面のホコリを落とす

柔らかい布に水を浸し、表面についたホコリなどを洗い落とします。

---

### 2 水ぶきする

柔らかい布またはスポンジで全体を水ぶきします。

※水ぶきで落ちない場合は、中性洗剤（1～2%の水溶液）で軽く洗い流します。

---

### 3 水分をふき取る

固く絞った柔らかい布で、十分に水分をふき取ります。

---

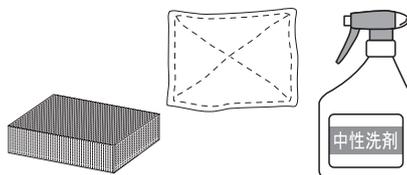
## ■ 通常のお手入れ（浴室側）

### 1 シャワー等で全体をぬらす

---

### 2 中性洗剤で汚れを落とす

汚れがひどい場合は、柔らかいスポンジで軽くこすり、汚れを落とします。



### 3 洗剤を洗い流す

- 洗剤が残ると変色やシミ、劣化の原因となります。
- 

### 4 水分をふき取る

固く絞った柔らかい布で、十分に水分をふき取ります。

樹脂板と扉のすき間や下部ガラルの汚れが気になる場合は、綿棒や棒に柔らかい布を巻きつけたものを使って、やさしくふき取ります。

---

## ■ 下レールのお手入れ (3枚片引き戸・3枚両引き戸)

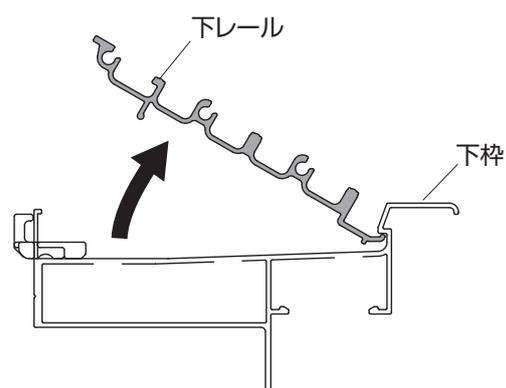
下レールは取りはずして洗うことができます。

### 1 扉を取りはずす

前ページ「引戸の取りはずし方」を参照し取りはずします。

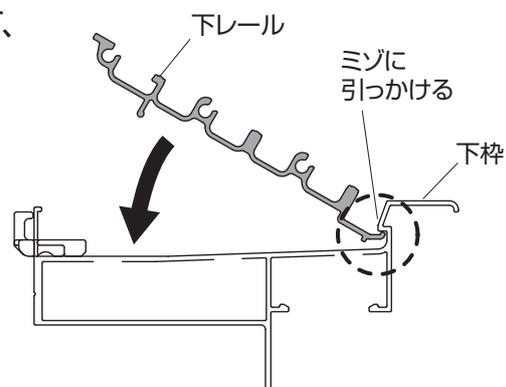
### 2 下レールを取りはずす

下レールをつまんで取りはずし、  
清掃します。



### 3 清掃後、下レールを取り付ける

下レールを下枠のミゾに引っかけて、  
下枠にはめ込みます。



## 調整

### ■ 戸車の調整

引戸が傾いている、動きがよくない場合、戸車を調整してください。

#### 1 引戸を開ける

#### 2 戸車を調整する

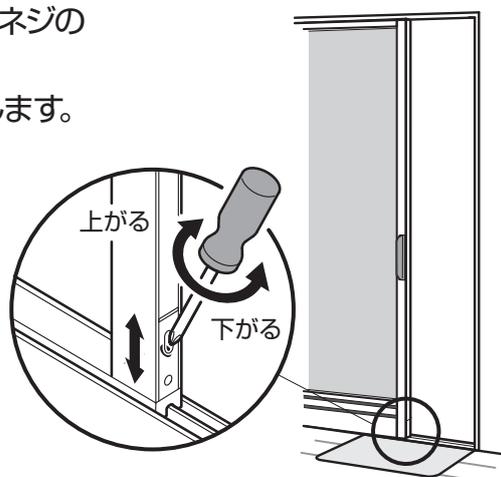
プラスドライバーを引戸両端の調整ネジの穴に差し込み、右(上がる)または左(下がる)にまわして戸車を調整します。

##### 傾いている時

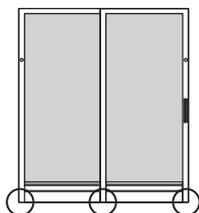
状況に合わせて、扉の左右を上下させて調整します。

##### 動きがよくない時

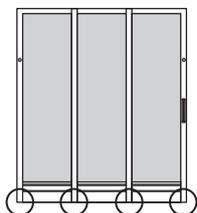
扉の左右両方を上げます。



片引き戸



3枚引戸



#### 3 引戸を閉める